

資料 4. 地域学校協働活動推進・調査研究資料の様式

- ① 様式 0 : 訪問フロー
- ② 様式 1 - 1 : 訪問希望書 (コンサルタントからの訪問希望)
- ③ 様式 1 - 2 : 派遣希望書 (教育委員会からの派遣希望)
- ④ 様式 1 - 3 : 派遣希望書 (委託団体からの派遣希望)
- ⑤ 様式 2 : 訪問先依頼書 (訪問先に訪問主旨を伝える)
- ⑥ 様式 3 : 訪問確認書・出張報告書 (コンサルタント訪問先・時間・旅費等報告書)
- ⑦ 様式 4 : 報告書 (コンサルタントから事務局への聞き取り・助言内容報告書)
- ⑧ 様式 5 : 進捗度確認シート (訪問先の活動進捗自己点検)

訪問希望書（研究員コンサルタントからの訪問希望）

提出日： 年 月 日

訪問の可否	可 否 他	
-------	-------	--

訪問希望先がある場合、このシートに記入してご提出ください。1地域1シートで記入・提出ください。

氏名				
		コンタクトの方法	自身	事務局
訪問希望先	教育委員会			
部署名・担当者名 連絡先が分かれば記載	学校			
	地域			
訪問希望の理由				
特に聞きたいこと				
その他				

業務経緯記録欄

月日	発信者	具体的な業務内容の記録をしてください。当方からの連絡事項も記入します。

派遣希望書（教育委員会等からの派遣希望）

提出日： 年 月 日

派遣希望先がある場合、このシートに記入してご提出ください。1地域1シートで記入・提出ください。記載された内容により、派遣する地域学校協働活動推進・調査研究員を決定し、ご連絡させていただきます。訪問時間は、訪問先ごとに約1～1時間半程度を予定しています。

氏名				
所属				
		訪問部署等	住所・連絡先	ご担当者
派遣希望先	教育委員会			
部署名・住所・ ご担当者・連 絡先を記入	学校			
	地域			
派遣希望の理由				
特に聞きたいこと・課題と感じていること等				
派遣希望時期(11月～1月にておおよそを記入)				

文部科学省委託 「学校と地域の新たな協働体制の構築のための実証研究」
 地域学校協働活動推進・調査研究員派遣事務局
 特定非営利活動法人スクール・アドバイス・ネットワーク 井上・松崎・清水
 TEL03-5347-2372 FAX03-5347-2373 E-mail kyodo@sanet.jp

派遣希望書（委託団体より研究員コンサルタント様へ）

提出日： 年 月 日

以下の箇所への訪問をお願いします。

研究員名	様			
派遣依頼者	（ ）委託団体からの希望			
		訪問部署名	住所・連絡先	ご担当者
派遣希望先	教育委員会			
部署名・住所・ ご担当者・連 絡先を記入	学校			
	地域			
派遣希望の理由				
ヒアリング・ コンサルして ほしい内容				
その他				

業務経緯記録欄

月日	発信者	具体的な業務内容の記録をします。当方からの連絡事項も記入します。

様式2) 訪問ご依頼書
平成 年 月 日

関係各位

NPO法人スクール・アドバイス・ネットワーク
理事長 生重 幸恵

**地域学校協働活動推進・調査研究員派遣等による
学校と地域の新たな協働体制構築のための実証研究 協力のお願い（依頼）**

謹啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

このたび、弊法人は、平成30年度文部科学省事業「学校と地域の新たな協働体制構築のための実証研究」を受託いたしました。

本事業では、地域学校協働活動推進に詳しい学識経験者、研究者、地域と学校を繋ぐコーディネーター経験者等が、「地域学校協働活動推進・調査研究員」として実際に現地にお伺いし、地域学校協働活動の推進に係る各地域の実情の把握と、必要に応じて解決に向けたコンサルティングを行ってまいります。

地域学校協働活動推進のためにお困りのことがありましたら、研究員にご相談いただくことで、推進のお手伝いをいたします。ぜひご活用いただくとともに、本事業へのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

記

本事業の目的：
* 地域学校協働活動に当たっての方向性等を分かりやすくお伝えする。
* 地域の実情を詳しくお聞きした上で、活動推進のために必要なことを共に考える。
* 地域学校協働活動の推進につなげる。
* お聞きした情報をもとに、他地域の活動推進に役立たせるための発信ツール（エピソード集など）を作成する。

ご依頼内容： 地域学校協働活動推進・調査研究員(コンサルタント)訪問による調査の協力及び相談

当該訪問者氏名： _____ 連絡先：TEL _____ E-mail _____

訪問詳細の連絡：上記、訪問者が直接ご連絡いたしますので、日時や訪問場所の相談をお受けください。

学校と地域の新たな協働体制構築のための実証研究受託団体（お問合せ先）
NPO法人スクール・アドバイス・ネットワーク
代表者：理事長 生重 幸恵 担当者：事務局長 井上 尚子
住 所：〒167-0051 東京都杉並区荻窪 5-29-11 プラザいなば 306
TEL：03-5347-2372 FAX：03-5347-2373
E-mail：kyodo@sanet.jp URL：https://www.sanet.jp/
文部科学省担当部署
文部科学省総合教育政策局地域学習推進課地域学校協働活動推進室

訪問確認書・出張報告書

氏名				
訪問先				
訪問日	月	日～	月	日
訪問時間	時	分～	時	分

複数個所訪問の場合は、訪問先と日、時間を以下に記載

--

旅行経路について（鉄道の場合は領収書なしで可・飛行機は領収書と搭乗券）（宿泊、パックは領収書要）

○ 往路		旅費	¥0			
往路	区間				金額・備考 (航空機利用：特急利用等)	
		から		経由		まで
		から		経由		まで
		から		経由		まで
		から		経由		まで
		から		経由		まで

○ 復路（往路と同じ場合は不要です）		旅費	¥0			
経路	区間				金額・備考 (航空機利用：特急利用等)	
		から		経由		まで
		から		経由		まで
		から		経由		まで
		から		経由		まで
		から		経由		まで

○ 宿泊		宿泊費	¥0			
宿泊先ホテル名						
ホテル以外の宿泊先	(宿泊費なしの場合)					
前泊・後泊	()	前泊	()	後泊	複数日業務 ()	泊
			旅費等合計	¥0		

○その他

「他機関より旅費の支払いを受ける場合」など旅費に関するもののほか、連絡事項

--

	協議会数	→	中学校数	校		
		→	中学校区数	箇所		
同上 設置計画 例) ○年度までに○校等						

●地域学校協働活動の設置要綱があれば、添付のこと () 有 () 無

●地域学校協働活動推進員の委嘱要綱があれば、添付のこと () 有 () 無

●地域学校協働活動推進員を委嘱している場合の委嘱期間

●地域学校協働活動推進員、又は地域コーディネーターへの予算の状況 (支払い方、金額等)

教委

その他

●コミュニティ・スクールの設置規則があれば、添付のこと () 有 () 無

●学校運営協議会委員への予算の状況 (支払い方、金額等)

●地域で協力してくれる団体や個人の状況 (全体的傾向や地域性等)

学校 地域 ヒアリング	当該校 校長就任年・月										
	学校内の地域連携担当	教頭・副校長	主幹	地域連携担当教員							
		事務職	その他 ()								
	当該校の 地域学校協働本部 (学校支援地域本部)	本部設置年	年								
		推進員	→	人数	人						
		経験5年以上	→	人数	人	2年以下					
		その他									
	当該校の 学校運営協議会	協議会設置年	年								
		委員数	→	人数	人						
		会議回数	→	年間	回						
その他											

●地域学校協働活動を進める人たちの人員構成

学校

地域

その他

●コミュニティ・スクールの人員構成

その他 基礎情報追記

教育委員会ヒアリング用

項目	パターン1	パターン2	パターン3	パターン4
A ビジョン 明確なビジョンと 制度の整備	コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の一体推進を進めるため、重点モデル校の設置、段階的な実施計画、地域学校協働本部の体制づくり等、進め方への明確なビジョンを示して、地域とともに、ビジョンの構築を進めるとともに、ビジョンを周知させるよう、学校や地域に情報を計画的に発信し、相談機会を設ける。	コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の活動を進めるため、重点モデル校の設置、段階的な実施計画、地域学校協働本部の体制づくり等、進め方への明確なビジョンを示しながら、地域とともにある学校づくりの導入を進めている。	段階的な実施の計画の基に、進め方へのビジョンを示しながら、コミュニティ・スクールと地域学校協働本部のいずれかを有する、地域とともにある学校づくりの導入を進めている。	進め方へのビジョンを検討しながら、コミュニティ・スクールが地域学校協働本部のいずれかの機能を有する、地域とともにある学校づくりの導入を進めていくための準備をしている。
B 人 専門性のある職員、責任ある担当の配置による推進	専門性を有する職員が、国の動向や先進地域の事例等を計画的に収集し、学校や地域に提供するなど、ビジョン実現のためのアクションをしつつ、コミュニティ・スクールや地域学校協働本部の設置後も担当者が各所の相談に乗るなど、責任をもって持続可能な推進をしている。	専門性を有する職員が、国の動向や先進地域の事例等を計画的に収集し、学校や地域に提供するなど、ビジョン実現のためのアクションをしている。	専門性を有する職員の育成を行うにつ、今後の方針について、国の動向に注目し、発信される情報を研究しながら、この地域に合った方法での推進をしようと努力している。	担当部署の職員が、今後の方針について、国の動向や発信される情報を収集している。
C コミュニケーション 学校教育と社会教育部門の連携	コミュニティ・スクールを進める担当部署と地域学校協働本部を進める担当部署が一体化している。	コミュニティ・スクールを進める担当部署と地域学校協働本部を進める担当部署が連携して取り組んでいる。	各々の担当部署が異なるため、コミュニティ・スクールと地域学校協働本部について別々に実施している。	コミュニティ・スクール、または地域学校協働本部についての理解促進に努めている。
D 能力 充実した研修会等の実施	管理職・教職員・地域対象者（コーディネーター、サポーター候補者、保護者等）へ、多様な内容を工夫しながら研修を進めている。生涯学習的観点からも地域学校協働活動に協力してくれる地域人材発掘に向けた育成を進めている。	管理職・教職員・地域対象者（コーディネーター、サポーター候補者、保護者等）へ、一定の内容周知やスキル向上のための研修を進めている。	管理職・教職員・地域対象者（コーディネーター、サポーター候補者、保護者等）へ、制度理解、啓発のための研修を進めている。	管理職・教職員・地域対象者（コーディネーター、サポーター候補者、保護者等）へ、制度理解、啓発のための研修を進めるための準備をしている。
E 環境づくり 使いやすい予算措置	活動費、各種謝礼等を自主財源において確保している。	活動費、各種謝礼等を自主財源及び自主財源以外とを併用しているが、自主財源以外の財源が閉ざされたときにも自主財源に転換できると計画している。	活動費、各種謝礼等は自主財源以外を利用している。	予算措置は最低限のものとして考えており、ポランティアベースを進めている。

教育委員会ヒアリング内容記入シート 様式4) 報告書

	項目	質問	聞き取った内容	パターン
A ビジョン	明確なビジョンと 制度の整備	どのようなビジョン で推進しています か。 地域学校協働本部と コミュニティの方 針をお聞かせくださ い。		
B 人	専門性のある職 員、責任ある担 当の配置による推 進	どのような担当体制 で進めていますか。 担当職員が推進に当 たり課題と考えるこ とがあれれば教え てください。		
C コミュニケ ーション	学校教育と社会教 育部門の連携	教委内での推進体制 はどのようなになっ ていますか。		
D 能力	充実した研修会等 の実施	学校や地域に対して の研修会は年に何 回、どのような内容 で実施しています か。		
E 環境づく り	使いやすい予算措 置	予算はどのように付 けていますか。*推 進員へ*サポーター へ*活動費等、詳細 を教えてください。 また財源はどのよう になっていますか。		
	その他 (項目にはないが、推進に 役立ちそうなエピソードを 積極的に聞く)			

教育委員会ヒアリング用 助言内容 様式4) 報告書
 助言した内容

項目	
A ビジョン 明確なビジョンと 制度の整備	
B 人 学校教育と社会教 育部門の連携	
C コミュニケ 専門性のある職 員、責任ある担当 の配置による推進	
D 能力 充実した研修会等 の実施	
E 環境づく り 使いやすい予算措 置	
その他 (項目にはないが、推進に 役立ちそうな情報提供を積 極的に。その内容)	
Next action (伸びしろがあればその内 容を記載。また、それを生 かした次の行動を助言す る)	

学校ヒアリング用

	パターン1	パターン2	パターン3	パターン4
項目	パターン1	パターン2	パターン3	パターン4
A ビジョン	<p>学校運営の基本方針に「地域とともにある学校づくり」を示してビジョンを明確にし、校長のリーダーシップに基づいた、コミュニケーションと地域学校協働本部を両輪とした地域と学校の連携・協働体制を構築して学校運営を進めている。</p>	<p>学校運営の基本方針に「地域とともにある学校づくり」を示してビジョンを明確にし、地域学校協働学校推進員がコーディネートする地域学校協働活動（本部という組織にはなっていない）と協働して学校運営を進めている。</p>	<p>学校運営の基本方針に「地域とともにある学校づくり」を示し、学校支援地域本部等の活動の支援を受けて地域連携・協働の取組を進めている。</p>	<p>地域と学校が連携・協働する仕組みづくりを進めることを考えている。</p>
B 人	<p>管理職からの情報提供や、校内研修等により「地域とともにある学校づくり」を多くの教職員が共有し、多忙化に配慮しつつ、全学的な地域と学校の連携・協働教育を計画的に進めている。</p>	<p>管理職からの情報提供や、校内研修等により「地域とともにある学校づくり」を一部の教職員が共有し、地域と学校の連携・協働した教育を計画的に進めている。</p>	<p>「地域とともにある学校づくり」を基本方針としており、地域と学校の連携・協働教育の意識の共有化を図る取組を進めている。</p>	<p>地域と学校の連携・協働教育を推進する意識の共有を図ることを考えている。</p>
C コミュニケーション	<p>熟識などを通して、学校・地域・保護者が共通理解を得る機会を持つて、地域による「学校支援」ではなく、「協働」しているという意識をもつて学校と地域が連携・協働した取組を計画的に進めている。</p>	<p>熟識などを通して、学校・地域・保護者が共通理解を得る機会を持ち、地域による「学校支援活動」として捉えて地域と連携した取組を計画的に進めている。</p>	<p>地域による学校支援活動が必要なものの、ありがたいこととして、地域と連携して学校支援の取組を始めた。</p>	<p>学校と地域が連携・協働した取組についての必要性を、学校通信等で地域に発信しようと考えている。</p>
D 能力	<p>地域連携担当教員などが学校内のコーディネーターとして、教職員への情報提供を行ったり、要望の取りまとめを行ったりして、地域とのパイプ役となつて推進役を果たしている。</p>	<p>地域連携担当教員が、教頭（副校長）等と協力して地域との窓口になつて学校内コーディネーターの役割を果たしている。</p>	<p>校長・教頭（副校長）・主幹教諭等と地域が会議などの場を持ち、協働活動の連絡調整を進めている。</p>	<p>管理職を中心に進めおり、今後の協働活動の連絡調整役づくりを考えている。</p>
E 環境づくり	<p>コミュニケーション等が気軽に集まれる専用の場所があり、活用されている。</p>	<p>コミュニケーションスペースとはいかないが、地域学校協働活動関係者が集まれる専用の場所があり、活用されている。</p>	<p>専用ではないが、地域と共用して活用することができる場所がある。</p>	<p>必要に応じて会議室などを活用することができる。</p>

学校ヒアリング内容記入シート 様式4) 報告書

聞き取った内容

	項目	質問	パターン
A ビジョン	管理職の理解、学校経営方針の整備	地域連携について、どのような方針で進めているのか教えてください。	
B 人	管理職と教職員の相互理解	地域連携の重要性について、教職員にはどのように周知していますか。また教職員の反応は？	
C コミュニケーション	学校と地域の相互理解	連携・協働活動の状況、範囲はどのようですか。学校と地域の相互理解のために行っていることは？協働ですか支援ですか	
D 能力	マネジメント能力のある地域連携担当教員の配置、担当の明確化	地域連携担当者はどなたですか。推進員との連絡調整の方法は？	
E 環境づくり	地域関係者が集える場の確保	地域関係者が集まる場づくりをしていますか。その場の状況はどのようなのですか。	
	その他 (項目にはないが、推進に役立ちそうなエピソードを積極的に聞く)		

学校ヒアリング用 助言内容 様式4) 報告書

助言内容

項目

A	ビジョン	<p>管理職の理解、学校経営方針の整備 <small>(地域連携についての経営方針は)</small></p>	
B	人	<p>管理職と教職員の相互理解 <small>(教職員への周知をどのように進めているか)</small></p>	
C	コミュニケーション	<p>学校と地域の相互理解 <small>(活動の範囲や状況は) (学校と地域が相互理解するために行っていること、支援か協働か)</small></p>	
D	能力	<p>マネジメント能力のある地域連携担当教員の配置、担当の明確化 <small>(地域連携担当者の存在は)</small></p>	
E	環境づくり	<p>地域関係者が集える場の確保 <small>(地域関係者が集える場所の在り方)</small></p>	
	その他	<p><small>(項目にはないが、推進に役立ちそうな情報提供を積極的に。その内容)</small></p>	
	Next action	<p><small>(伸びしろがあればその内容を記載。また、それを生かした次の行動を助言する)</small></p>	

地域ヒアリング用

項目	パターン1	パターン2	パターン3	パターン4
A ビジョン 地域団体同士の良い関係づくり、連携、学び合い	地域の各団体との連携をもち、熟識などを通して、地域住民同士が学び合う場づくりをするなどして地域学校協働活動への意欲向上を図りつつ、地域学校協働活動のネットワーク化を進めるための「地域学校協働本部」の活動を推進している。	地域の各団体との連携をもち、「地域学校協働本部」としての地域学校協働活動のネットワーク化を進めている。	学校からの依頼をもち、連携できる地域団体等に依頼して協力を確保する関係づくりを行っている。	学校からの依頼をもち、連携できる地域団体との協力を確保している。
B 人 地域団体や多様な人材の（産業界・卒業生など）の確保	地域団体、企業、中間支援組織、卒業生など、多様な組織団体のネットワークにアプローチして、計画的な人材確保や情報収集の活動を行っている。	地域団体、企業、中間支援組織、卒業生など、多様なネットワークづくりを行って、必要な人材確保の活動を行っている。	必要に応じて地域関係者への個別協力を求めて必要な人材を確保する活動を行っている。	学校からの依頼があれば、必要な人材の確保を行うことを考えている。
C コミュニケーション 学校との相互理解	熟識などを通して、学校・地域・保護者が共通理解を得る機会を持つて、「協働」しているという意識を持って学校と連携・協働した取組を進めている。	熟識などを通して、学校・地域・保護者が共通理解を得る機会を持つて、「協働」しているという意識を持って学校と連携した取組を進めている。	学校からの求めに応じた「学校支援活動」として、学校と連携した取組を進めている。	学校からの発信により、学校支援を行うと考えている。
D 能力 子どもと子どもが協働する地域学校協働活動推進者の姿勢	地域学校協働活動を推進する者が、教育委員会等から勧められるなどして、学校や子どもたちの現状などについて理解を深めるよう学び合いをし、学校がもつ課題（変化する教育内容・個人情報保護・教職員の個性等）を関係化する団体等と共有して協働活動に臨んでいる。	地域学校協働活動を推進する者が、教育委員会等から勧められて、学校などに参加するなどして一定の理解を深め、関係する団体等との協働活動を進めている。	地域学校協働活動を推進する者が、教育委員会等から勧められ、学校や子どもには参加を促しており、学校の現状を理解して活動を進めている。	地域学校協働活動を推進する者が、制度理解や学校の現状、地域との連携の必要性について理解する取組を考えている。
E 環境づくり 保護者や地域への情報発信	保護者や地域住民に対しての理解促進、啓発などの情報発信を様々な手段で計画的に行っている。	保護者や地域住民に対しての理解促進、啓発などの情報発信を行っている。	個別の関係者への情報発信を行っている。	現在は情報発信を行っていないため、今後の取組を考えている。

地域ヒアリング用内容記入シート 様式4) 報告書

聞き取った内容		パターン
項目	質問	
A ビジョン	地域団体同士の良好な関係づくり、連携、学び合い	地域の団体との関係づくりをどのように進めていますか。
B 人	地域団体や多様な人材（産業界・卒業生など）の確保	多様な関係者とのネットワークづくりをどのように進めていますか。
C コミュニケーション	学校との相互理解	連携・協働活動の状況、範囲はどのようですか。学校と地域の相互理解のために行っていることは？協働ですか支援ですか
D 能力	学校と子どもを理解しながら協働する地域学校協働活動推進者の姿勢	教育委員会の研修会、他団体の勉強会への参加など、どのような学びを通して、学校や子どもを理解していますか。
E 環境づくり	保護者や地域への情報発信	保護者や地域、教職員への活動状況等の情報発信をどのようにしていますか。
その他	その他 (項目にはないが、推進に役立ちそうなエピソードを積極的に聞く)	

項目		助言内容
A ビジョン	地域団体同士の良好な関係づくり、連携、学び合い (地域団体との関係づくりをどう進めているか)	
B 人	地域団体や多様な人材の(産業界・卒業生など)の確保(関係構築の多様性をどう確保しているか)	
C コミュニケーション	学校との相互理解 (活動の範囲や状況は)(学校と地域が相互理解するために行っていること、支援が協働か)	
D 能力	学校と子どもを理解しながら協働する地域学校協働活動推進者の姿勢 (学校や子どもを理解するために行っていることは)	
E 環境づくり	保護者や地域への情報発信 (情報発信をどのようにしているか)	
	その他 (項目にはないが、推進に役立ちそうな情報提供を積極的に。その内容)	
	Next action (伸びしろがあればその内容を記載。また、それを生かした次の行動を助言する)	

進捗度確認シート（どのパターンに当てはまりますか？）【教育委員会用】

	パターン1	パターン2	パターン3	パターン4
項目	パターン1	パターン2	パターン3	パターン4
A ビジョン	<p>コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の一体推進を進めるため、重点モデル校の設置、段階的な実施計画、地域学校協働本部の体制づくり等、進め方への明確なビジョンを示して、地域とともにも、ビジョンの構築を進めるとともに、ビジョンを周知させるよう、学校や地域に情報を計画的に発信し、相談機会を設けるなどのアクションを行っている。</p>	<p>コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の活動を進めるため、重点モデル校の設置、段階的な実施計画、地域学校協働本部の体制づくり等、進め方への明確なビジョンを示しながら、地域とともにもある学校づくりの導入を進めている。</p>	<p>段階的な実施の計画の基に、進め方へのビジョンを示しながら、コミュニティ・スクールが有する、地域とともにもある学校づくりの導入を進めている。</p>	<p>進め方へのビジョンを検討しながら、コミュニティ・スクールが地域学校協働本部のいずれかの機能を有する、地域とともにもある学校づくりの導入を進めていくための準備をしている。</p>
B 人	<p>専門性のある担当職員、責任ある推進の配置による推進（教委内でのよい担当体制で進めているかについて）</p>	<p>専門性を有する職員が、国の動向や先進地域の事例等を計画的に収集し、学校や地域に提供するなど、ビジョン実現のためのアクションをすすめている。</p>	<p>専門性を有する職員の育成を行いつつ、今後の方針について、国の動向に注目し、発信される情報を研究しながら、この地域に合った方法での推進をしようとする努力をしている。</p>	<p>担当部署の職員が、今後の方針について、国の動向や発信される情報を収集している。</p>
C コミュニケーション	<p>学校教育と社会教育部門の連携（教委内での推進体制はどのようになっているかについて）</p>	<p>コミュニティ・スクールを進める担当部署と地域学校協働本部を進める担当部署が一体化している。</p>	<p>各々の担当部署が異なるため、コミュニティ・スクールと地域学校協働本部について別々に実施している。</p>	<p>コミュニティ・スクール、または地域学校協働本部についての理解促進に努めている。</p>
D 能力	<p>充実した研修会等の実施（学校や地域に対しての研修の実施状況について）</p>	<p>管理職・教職員・地域対象者（コーディネーター、サポーター候補者、保護者等）へ、多様な内容を工夫しながら研修を進めている。地域学校協働活動に協力してくれる地域人材発掘に向けた育成を進めている。</p>	<p>管理職・教職員・地域対象者（コーディネーター、サポーター候補者、保護者等）へ、一定の内容を周知やスキル向上のための研修を進めている。</p>	<p>管理職・教職員・地域対象者（コーディネーター、サポーター候補者、保護者等）へ、制度理解、啓発のための研修を進めるための準備をしている。</p>
E 環境づくり	<p>使いやすい予算措置（教育行政としての予算の確保について）</p>	<p>活動費、各種謝礼等を自主財源において確保している。</p>	<p>活動費、各種謝礼等は自主財源以外を利用している。</p>	<p>予算措置は最低限のものとして考えており、ポランティアベースを進めている。</p>

以下の内容でお話をうかがいます。
 以下の内容でお話をうかがいます。事前にいただければ記載していただけます。事前には記載していただけます。事前には記載していただけます。

項目	調査員からの質問内容	パターン	訪問先の記入欄（訪問時に特に話題にしたいことがあれば記入ください）
A ビジョン 明確なビジョンと 制度の整備	どのようなビジョンで推進していますか。 地域学校協働本部とコミスクの推進の方針をお聞かせください。		
B 人 専門性のある職 員、責任ある担 当の配置による推進	どのような担当体制で進めていますか？ * 地域学校協働活動の推進担当 * コミュニティ・スクールの推進担当 * 社会教育主事や、経験ある担当者などの存在はどのようなようになっていますか？		
C コミュニケ ーション	学校教育と社会教育部門の連携		
D 能力	充実した研修会等の実施		
E 環境づくり	使いやすい予算措置		
その他 (項目にはない悩みや課題等の相談・打ち合わせ内容)			

進捗度確認シート(どのパターンに当てはまりますか?) 【学校用】

	パターン1	パターン2	パターン3	パターン4
項目 管理職の理解、学校経営方針の整備(地域との連携についての経営方針の具現化について)	学校運営の基本方針に「地域ととともにある学校づくり」を示してビジョンを明確にし、校長のリーダーシップに基づいた、コミュニティ・スクールの地域学校協働本部を両輪とした地域と学校の連携・協働体制を構築して学校運営を進めている。	学校運営の基本方針に「地域ととともにある学校づくり」を示してビジョンを明確にし、地域学校協働活動推進員がコーディネートする地域学校協働活動(本部という組織にはなっていない)と協働して学校運営を進めている。	学校運営の基本方針に「地域ととともにある学校づくり」を示し、学校支援地域本部等の活動の支援を受けて地域連携・協働の取組を進めている。	地域と学校が連携・協働する仕組みづくりを進めることを考えている。
A ビジョン				
項目 管理職と教職員の相互理解(教職員への周知や理解をどのように進めているかについて)	管理職からの情報提供や、校内研修等により「地域ととともにある学校づくり」を多くの教職員が共有し、多忙化に配慮しつつ、全学的な地域と学校の連携・協働教育を計画的に進めている。	管理職からの情報提供や、校内研修等により「地域ととともにある学校づくり」を一部の教職員が共有し、地域と学校の連携・協働した教育を計画的に進めている。	「地域ととともにある学校づくり」を基本方針としており、地域と学校の連携・協働教育の意識の共有化を図る取組を進めている。	地域と学校の連携・協働教育を推進する意識の共有を図ることを考えている。
B 人				
項目 学校と地域の相互理解(学校と地域が支援や協働を相互理解するために取り組んでいることについて)	熟識などを通して、学校・地域・保護者が共通理解を得る機会を持つて、地域による「学校支援」ではなく、「協働」しているという意識をもつて学校と地域が連携・協働した取組を計画的に進めている。	熟識などを通して、学校・地域・保護者が共通理解を得る機会を持ち、地域による「学校支援活動」として捉えて地域と連携した取組を計画的に進めている。	地域による学校支援活動を必要なもの、ありがたいこととして、地域と連携して学校支援の取組を始めた。	学校と地域が連携・協働した取組についての必要性を、学校通信等で地域に発信しようと考えている。
C コミュニケーション				
項目 マネジメント能力のある地域連携担当教員の配置、担当の明確化(校務分掌上の地域連携担当者の存在について)	地域連携担当教員などが学校内のコーディネーターとして、教職員への情報提供を行ったり、要望の取りまとめを行ったりして、地域とのパイプ役となって推進役を果たしている。	地域連携担当教員が、教頭(副校長)等と協力して地域との窓口になつて学校内コーディネーターの役割を果たしている。	校長・教頭(副校長)・主幹教諭等と地域が会議などの場を持ち、協働活動の連絡調整を進めている。	管理職を中心に進めおり、今後の協働活動の連絡調整役づくりを考えている。
D 能力				
項目 環境づくり	コミュニティ・スペース等の地域の人が気軽に集まれる専用の場所があり、活用されている。	コミュニティ・スペースとはいかないが、地域学校協働活動関係者が集まれる専用の場所があり、活用されている。	専用ではないが、地域と共用して活用することができる場所がある。	必要に応じて会議室などを活用することができる。
E 環境づくり				

以下の内容でお話をうかがいます。事前には記載していただき、訪問時に準備ができます。

項目	調査員からの質問内容	パターン	訪問先の記入欄 (訪問時に特に話題にしたいことがあれば記入ください)
A ビジョン 管理職の理解、学校経営方針の整備	地域連携について、どのような方針で進めているのか教えてください。		
B 人 管理職と教職員の相互理解	地域連携の重要性について、教職員にはどのように周知していますか。また教職員の反応はいかがですか。		
C コミュニケーション 学校と地域の相互理解	連携・協働活動の状況、範囲はどのようですか。学校と地域の相互理解のために取り組んでいることがあれば教えてください。現在の学校と地域の連携は学校支援活動ですか、それとも地域学校協働活動ですか。		
D 能力 マネジメント能力のある地域連携担当教員の配置、担当の明確化	地域連携担当者とは誰ですか。推進員の連絡調整の方法はどのようになっていますか。		
E 環境づくり 地域関係者が集える場の確保	地域関係者が集まる場づくりをしていますか。その場の状況はどのようですか。		
その他 (項目にはない悩みや課題等の相談・打ち合わせ内容)			

進捗度確認シート(どのパターンに当てはまりますか?)【地域用】

	項目	パターン1	パターン2	パターン3	パターン4
A	地域団体同士の良好な関係づくり、連携、学び合い(地域団体との関係づくりの進め方について)	地域の各団体との連携をもち、熟識などを通して、地域住民同士が学び合う場づくりをするなどして地域学校協働活動への意欲向上を図りつつ、地域学校協働活動のネットワーク化を進めるための「地域学校協働本部」の活動を推進している。	地域の各団体との連携をもち、「地域学校協働本部」としての地域学校協働活動のネットワーク化を進めている。	学校からの依頼をもち、連携できる地域団体等に依頼して協力を確保する関係づくりを行っている。	学校からの依頼をもち、連携できる地域団体との協力体制づくりを進めることを考えている。
B	地域団体や多様な人材(産業界・卒業生など)の確保(団体や企業等との構築しているかについて)	地域団体、企業、中間支援組織、卒業生など、多様な組織団体のネットワークにアプローチして、計画的な人材確保や情報収集の活動を行っている。	地域団体、企業、中間支援組織、卒業生など、多様なネットワークづくりを行って、必要な人材確保の活動を行っている。	必要に応じて地域関係者への個別協力を求めて必要な人材を確保する活動を行っている。	学校からの依頼があれば、必要な人材の確保を行うことを考えている。
C	学校との相互理解(学校と地域が支援や協働を相互理解するために行っていることについて)	熟識などを通して、学校・地域・保護者が共通理解を得る機会を持つて、地域による「学校支援」ではなく、「協働」しているという意識を持って学校と連携・協働した取組を進めている。	熟識などを通して、学校・地域・保護者が共通理解を得る機会を持つて、地域からの「学校支援活動」として捉えて学校と連携した取組を進めている。	学校からの求めに応じた「学校支援活動」として、学校と連携した取組を進めている。	学校からの発信により、学校支援を行うと考えている。
D	学校と子どもを理する姿勢(学校や子どもを理する取組について)	地域学校協働活動を推進する者が、教育委員会等から勧められるなどして、学校や子どもたちの現状などの理解を深めるよう学び合いをし、学校がもつ課題(変化する教育内容・個人情報保護・教職員の業務改善・多様化する児童生徒の個性等)を関係する団体等と共有して協働活動に臨んでいる。	地域学校協働活動を推進する者が、教育委員会等から勧められて一定の理解をして、関係する団体等との協働活動を進めている。	地域学校協働活動を推進する者が、教育委員会等から勧められ、学校や子どもには参加をしており、学校や子どもの現状を理解して活動を進めている。	地域学校協働活動を推進する者が、制度理解や学校の現状、地域との連携の必要性について理解する取組を考えている。
E	保護者や地域への情報発信(情報発信をどのように行っているかについて)	保護者や地域住民に対しての理解促進、啓発などの情報発信を様々な手段で計画的に行っている。	保護者や地域住民に対しての理解促進、啓発などの情報発信を行っている。	個別の関係者への情報発信を行っている。	現在は情報発信を行っていないため、今後の取組を考えている。

以下の内容でお話をうかがいます。
事前にご記載いただくと、訪問時に準備ができます。

A ビジョン	項目 地域団体同士の良好な関係づくり、連携、学び合い	調査員からの質問内容 地域の団体との関係づくりをどのように進めていますか。	パターン	訪問先の記入欄（訪問時に特に話題にしたいことがあれば記入ください）
B 人	地域団体や人材の多様性（産業界・卒業生など）の確保	多様な関係者（産業界・NPO・卒業生・高校や大学等）とのネットワークづくりをどのように進めていますか。		
C コミュニケーション	学校との相互理解	連携・協働活動の状況、範囲はどのような学校と地域の相互理解のために行っていることはどのようなことですか。現在の学校と地域の連携は学校支援活動ですか、それとも地域学校協働活動ですか。		
D 能力	学校と子どもを理解しながら協働する姿勢	教育委員会の研修会、他団体の勉強会への参加など、どのような学びをして、学校や子どもを理解していますか。		
E 環境づくり	保護者や地域への情報発信	保護者や地域、教職員への活動状況等の情報発信をどのようにしていますか。		
	その他 (項目にはない悩みや課題等の相談・打ち合わせ内容)			